

東京都立町田の丘学園校長
三浦 昭広
第1号 令和6年6月5日発行



「あの時」を輝かせるために

今年度は、久しぶりに入学式とソメイヨシノ満開のタイミングがぴったり一致しました。しかしB部門の小中学部の入学式は、時ならぬ春の嵐に見舞われ、風雨にさらされ、桜まみれになって入学式にやって来た子供、保護者の方も多くいました。

「散々だった入学式の日々の天気」として「終わってしまった過去は変えられない」と思われがちですが、実は未来の充実具合で、過去の出来事の意味付けは大きく変わってきます。今が充実している人は、過去の苦労は人生の糧と懐かしく感じられるようなものです。学校生活が楽しく充実したものになってくると、桜が舞い踊っていた嵐の記憶が、かえって町田の丘学園での生活のスタートとして、印象深い懐かしい記憶となります。そう感じてもらえるよう、日々の教育活動に取り組んでいきたいと思っています。

今年度の2学期より、山崎校舎が野津田校舎に帰ってきて、10年ぶりに一つの校舎に統合されます。そうした引っ越し作業もあって、毎年輪番で行っていた町田市の特別支援学級のない小中学校との学校間交流は1年間お休みになります。本校は名前通り、小高い丘の上にあるので、今まで歩いてきてもらっていた地域の学校との交流も、検討が必要です。考えなくてはいけないことは沢山ありますが、交流している時の子供たちの笑顔を楽しみに、工夫していきたいと思っています。



10月16日(水)には統合した校舎で学校公開を行います。グラウンドの完成は来年度にずれ込んでいますが、校舎はすべて完成し、全校そろっての学習の様子を御覧いただけます。9月発行の地域支援だよりの2号で詳しくご案内いたします。是非、足を運んでみてください。

学校間交流について

例年、町田の丘学園では、町田市立の特別支援学級が設置されていない小・中学校と2年ごとの輪番制で学校間交流を行っております。昨年度は大蔵小学校、木曽中学校と交流をしました。今年度は校舎統合等の関係で、輪番制の学校間交流は休止となっております。限られた中で継続できる内容や、違った形での学校間交流を検討しております。

また、知的障害教育部門は山崎校舎の近隣校である七国山小学校とも学校間交流を行っていましたが、校舎の移転に伴い、近隣校としての直接交流が難しくなりました。今後の近隣校交流については、どのような形なら継続できるのかを鋭意検討中です。今までの形にとらわれず、柔軟に考えていきたいと思っています。



就学相談について

令和7年度に向けた就学相談がスタートします。町田の丘学園への就学・進学・転入学を検討している方の窓口は町田市教育センターとなりますので、まずは教育センターへ御連絡ください。

★町田の丘学園の見学を希望される場合は

【肢体不自由教育部門】

町田の丘学園が窓口になります。直接御連絡ください。スクールバス乗車のための車椅子作製など、準備に時間のかかるものもありますので、御入学を考えられている方は早めにお問い合わせください。年少・年中の年齢からでも構いません。

【知的障害教育部門】

町田市教育センターが窓口になります。

見学を希望する旨をお早めに教育センターまで御連絡ください。原則として、2学期以降の見学はできませんので時期にご注意ください。



就学・進学・転学に関する電話相談は町田の丘学園でも受け付けています。各部門のコーディネーターまでお気軽にご連絡ください。



副籍制度ってなあに？

～副籍交流について知ろう！基本のき～

☆副籍制度とは・・・

特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が居住する地域の小・中学校（地域指定校）に副次的な籍（副籍）をもち、交流を通じて居住する地域とのつながりを維持・継続するための制度です。

副籍制度が目指すのは、特別支援学校に在籍する児童・生徒も、地域の小・中学校に在籍する児童・生徒と同じように「地域の子供である」という理念を共有し、交流を通じて互いを認め合い尊重し合う経験を通して相互理解する中で「豊かな心」を育むこと、互いに支え合って生きる共生社会の実現です！



☆この副籍制度のもとで行われる交流が副籍交流です！

副籍交流には大きく分けて二つの方法があります。間接的な交流（間接交流）と直接的な交流（直接交流）です。

●間接交流：地域指定校に籍を置き、学校便りや学年便りのやり取りを中心とした交流のことです。本校では、町田市の交換便を使って月に1回程度（年間10回程度）お便りの交換を行い、地域指定校からきたお便りは各御家庭に配布しています。

●直接交流：地域指定校の行事や授業などに参加する参加型の交流です。学校便りや学年便りを地域指定校に持参し、直接クラスの児童・生徒に渡したり、挨拶をしたりする短時間の直接交流を行っているケースもあります。直接交流をする場合は、事前に「顔合わせ」を行い、地域指定校の担任の先生方と児童・生徒本人、保護者の方が「どのようにしたらスムーズに交流ができるか？」を一緒に考えてから交流を始めます。

副籍交流では、小・中学部を卒業後も地域で生活し、地域の方々と共に生活をしていくことを考え、顔合わせの同席や交流の付き添いなど、保護者の方々に積極的な協力をお願いしています。

特別支援学校の児童・生徒と地域の小・中学校の児童・生徒が互いを認め合い、共に支え合って生きる社会の形成に繋げるべく、副籍制度の趣旨を御理解いただき、今後とも御協力をよろしくお願ひいたします。



旭岡 善介

ひのおか ぜんすけ

町田の丘学園 16年目になり、最も古い（よく言うと「長いスパンで子供達を見続けている」）教員となりました。今年進路も担当し、乳幼児期から壮年期まで、幅広く情報提供や支援ができるよう、取り組んでいきます。

大澤 紘子

おおさわ ひろこ

町丘生活もあつという間に6年目に入りました。今年校舎の移転があり、学校間交流など難しいこともありますが、新しい校舎で新しい出会いと発見があることを期待しています。今年度も沢山の生徒たちの学びと笑顔を支えます！宜しくお願いします。

富田 智美

とみた ともみ

町田の丘学園 2年目です。児童生徒が学校や地域で、笑顔あふれる生活を送れるように支援してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

佐藤 渉

さとう わたる

町田の丘学園 4年目となりました。多感な年代の生徒の皆さんと過ごしながら、日々新しい発見を楽しみにしている毎日です。よろしくお願いいたします♪

<お問合せ>

東京都立町田の丘学園

○本校舎：〒195-0063 町田市野津田町2003
TEL) 042-737-0570 FAX) 042-737-0580

旭岡 善介（ひのおか ぜんすけ）地域コーディネーター

○山崎校舎（令和6年7月末まで）※8月より本校舎に移転
〒195-0075 町田市山崎1-2-17

TEL) 042-792-4260 FAX) 042-792-4264

大澤 紘子（おおさわ ひろこ）地域コーディネーター
富田 智美（とみた ともみ）地域コーディネーター
佐藤 渉（さとう わたる）地域コーディネーター

